

報道関係者各位

2007年3月吉日

第68回 虎屋文庫資料展のご案内

「和菓子百珍」展 その2

2007年5月18日(金)～6月17日(日) 10:00～17:30

虎屋ギャラリー(虎屋ビル2階) 入場無料／会期中無休

地下鉄赤坂見附駅A出口より徒歩約7分

さあさあ皆様お立会い。文豪・森鷗外の好物「饅頭茶漬け」に、あざらし形の落雁、笑顔であられを投げあう行事をとくにご覧あれ。一風変わった菓子やエピソード満載のおかしな展示会、賑々しく開幕。

江戸時代、豆腐を百通りもの調理法で楽しむという斬新な料理書『豆腐百珍』が評判を呼び、類書も多く発行されました。

今回はこの百珍に想を得て、一風変わった菓子や、菓子にまつわるエピソードを、約100点とりあげます。

一例をご紹介しますと…。

饅頭茶漬けにチャレンジ

現在、静かなブームとなっている青森の煎餅汁をはじめ、羊羹のサンドイッチなど、ユニークな食べ方に着目。文豪・森鷗外の意外な好物は、ご飯の上に饅頭を割って載せ、煎茶をかけて食べる、という饅頭茶漬けでした。

ギャラリーでご覧になったあとは、ぜひ、お家でお試し下さい。

江戸時代のタマちゃんブーム？

江戸時代、名古屋にアザラシが現れて、大変な人気を呼びました。集まった人々を目当てに作られたのが、あざらし形の落雁。当時の絵日記に残るこの落雁を、復元展示します。今も昔も、商売根性は、たくましいようです。

このほか、象の食べた饅頭や犬の餅など、動物にまつわる菓子の話題を取り上げます。

菓子を撒いて福を呼ぼう

菓子を撒くといえば、上棟式の餅撒きが知られますが、それだけではありません。埼玉県吉川市の「あられぶっつけ」は五穀豊穡を願い、あられを投げあう行事です。かわいらしい動物形の団子を投げる輪島の犬の子撒き、人の大きさほどもある巨大な餅を投げた江戸時代の行事などもご紹介します。

あなたも菓子の雑学博士！

今年1月に京都競馬で優勝した競走馬の名前は、何と「モチ」。
コンペイトウウミウシ、ユキモチソウなどの動植物、団子森や小豆餅などの地名、菓子をテーマにした音楽など、菓子にまつわるちょっと変わった話題を50以上も集めてみました。菓子に関することわざや、江戸時代の菓子売の姿もお目にかけます。

展 示 品

菓子類…各種記録からユニークな菓子の復元ほか 約40点

資料類…『豆腐百珍』ほかの百珍物（料理書）、菓子絵図帳、古文書ほか

展示解説 毎週月曜日 10:30～。参加自由。

講演会 6月10日（日）「百珍と和菓子」 原田信男先生（国士舘大学教授）
14:00～15:30 於：赤坂区民センター 区民ホール

*往復ハガキに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記住所虎屋文庫までお申し込み下さい。〆切5月30日(水)必着。ハガキ1枚お一人様有効(申し込み多数の場合は抽選)。

お問い合わせ先

〒107-8401 東京都港区赤坂 4-9-22 株式会社 虎 屋 虎 屋 文 庫
Tel 03-3408-2402 Fax 03-3408-4561
e-mail bunko@toraya-group.co.jp
<http://www.toraya-group.co.jp/>

* 同封の写真は、森鷗外の好物「饅頭茶漬け」の復元です。

* この展示は、1993年の「楽しきかな 和菓子百珍」展の続編です。